

1. 研究活動

| ◎論文 | | | |
|--|-----------------------|--------------------|---|
| 単著 都市在住者のメタボリック症候群改善に向けた実践可能な対策の提案 — 「山村におけるセミナー」を利用した行動変容に基づいて | 2010. 3 | 名古屋芸術大学研究紀要 (第31巻) | 都市部在住者の多くは、運動不足や不適切な食事が原因でメタボリック症候群になっていることが多い。本研究は、実際に長野県小谷村で実践しつつあるセミナーを例に、行動変容を伴う、実践可能な具体的提案を検証した。 |
| ◎学会発表 | | | |
| 連名 ノルディック・スノーシューイングの生体負担度 | 2009. 9. 18 ～9. 19 | 新潟県新潟市朱鷺メッセホール | 雪上におけるノルディック・スノーシューイングの効果を、酸素摂取量・心拍数・RPE等を用いて評価した。 |

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

| ◎講演 | | |
|-----------------------------------|--------------|--|
| 運動と健康 | 2009. 4. 5 | 癒しの宿認定講習会（長野県小谷村役場ホール） 健康的な人生を送るためには適切な運動が必要である事を、様々な事例を元に解説し講演した。 |
| 北京パラリンピック報告 | 2009. 9. 6 | 一宮市障害者スポーツ講習会（修文大学） 北京パラリンピックの様子をスライドを用いて紹介し、国際大会の実態を報告した。 |
| 障がい者に対するレジスタンス・トレーニングの効果の検証 | 2009. 12. 5 | 東海体育学会課題研究発表（愛知工業大学本山キャンパス7F 702教室） 様々な障がい者に対して実践したレジスタンス・トレーニングを紹介し、その効果について検証した結果を報告した。 |
| ◎社会活動 | | |
| 第6回日本ディスエイブルパワーリフティング協会西日本選手権大会開催 | 2009. 10. 25 | 名古屋芸術大学西キャンパス体育館 本大会はIPC公認の大会であり、国際大会に参加するために必要な公認標準記録を認定できる大会である。 |